

# 中四国の生協 地連ニュースレター

2015年4月27日 <第444号>  
日本生活協同組合連合会 中四国地連  
発行責任者 小林紀久子  
TEL:086-230-1320 FAX:086-230-1321

## 鳥取県生協連 県内市町高齢社会課等との懇談会を実施しました

「新しい地域支援事業」との連携や、生協事業活動への理解を広げる取り組みとして、県内市町の高齢福祉課等を訪問し懇談を行いました。生協からの説明には、「住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられる地域社会づくりをめざして(パンフ)」と「市町村県内生協の地域資源」や各生協からも資料を活用しました。

### ■鳥取市高齢社会課との懇談会

4月14日、鳥取市高齢社会課3名が出席、生協からは池成(鳥取医療副組合長)、林(鳥取医療専務理事)、堀尾(鳥取医療生協理事)、井上(県生協専務理事)、長谷川(県生協総合企画室リーダー)、松軒(県連会長)の6名が出席しました。

鳥取市からは、現在地域ニーズと資源収集のための実態調査をすすめていること。新しい地域支援事業開始に向け、各公民館ごとに設置している「町づくり協議会」や地域包括支援センター等、現在ある制度をより充実しつつ、今年の秋頃には計画案を作成する予定であることが説明されました。また、生協は地域支援事業をすすめていくパートナーとして位置づけており、これからも情報交換等をすすめていきたいとのコメントがありました。



### ■境港市長寿社会課との懇談会

4月15日、境港市長寿社会課2名、社協地域福祉課1名が出席、生協からは田中(米子医療生協専務理事)、浜江(県生協理事長)、長谷川(県生協総合企画室リーダー)、松軒(県連会長)の4名が出席しました。

境港市からは、米子医療生協が建設した高齢者施設、県生協が展開している個配や夕食宅配のしくみ、くらし助け合いの会の利用方法等に関する質問があり、これから市がすすめる支援事業との連携の可能性についても意見交換ができました。境港市では、現在は平成29年度からの新しい支援事業開始に向けた準備段階であること等の説明があり、今後も情報・意見交換をすすめていくことを確認しました。

### ■米子市長寿社会課との懇談会

4月17日、米子市長寿社会課3名が出席、生協からは田中(米子医療生協専務理事)、浜江(県生協理事長)、長谷川(県生協総合企画室リーダー)、松軒(県連会長)の4名が出席しました。

米子市からは、くらし助け合いの会のメンバー構成や夕食弁当の価格、商品の注文方法等についての質問がありました。また、米子医療生協ですすめている高齢者施設に関する質問も出されました。米子市では、これから「総合支援事業」をすすめていくためのメニューを作成中で、生協にもメニューを提案した場合、対応をお願いしたい旨の提案があり、生協として了解しました。



### ■倉吉市長寿社会課との懇談会

4月22日、倉吉市長寿社会課2名が出席、生協からは富永(鳥取医療生協・メディコープとっとり副部長)、浜江(県生協理事長)、長谷川(県生協総合企画室リーダー)、松軒(県連会長)の4名が出席しました。

倉吉市からは、「新しい総合支援事業」を29年度から予定しており、コーディネーターの配置や協議体については今後の検討として位置づけている旨の説明がありました。また、県生協や鳥取医療生協と締結している「見守り協定」の実効性を高めるためのしくみづくりに向けての協力要請がありました。

### ■北栄町福祉課との懇談会

4月22日、北栄町福祉課2名、地域包括支援センター1名が出席、生協からは浜江(県生協理事長)、長谷川(県生協総合企画室リーダー)、松軒(県連会長)の3名が出席しました。

北栄町からは、県生協が取り組んでいる「まちなかステーション」の仕組みや、くらし助け合い活動の詳細に関する質問等がありました。また、現在設置している「生活研究会」を「協議会」に位置づける予定であり、生協にも参加してほしい旨の要請があり、県生協として了承しました。合わせて「ほくえい見守り安心ネット」に「協力機関」としての登録要請がありました。

(鳥取県連より情報提供いただきました)